

地域政策学部の概要

- ・開設 令和8年4月
- ・定員 入学定員 70名
- ・本拠地 福井まちなかキャンパス

- 〔 1年生 : 永平寺キャンパス  
2年生以降 : 福井まちなかキャンパス 〕

・整備内容 AOSSA（1階、3階、5階）

延床面積：約2,580㎡

- 主な居室：1階 講義室、学生ホール等  
3階 図書室、学部長室、非常勤講師控室 等  
5階 教員研究室、教員交流ホール等

事業費：14.7億円

※ 令和8年度 改修工事、令和9年度 供用開始



【AOSSA外観】

福井まちなかキャンパスのコンセプト・特徴

県立大学の基本理念（個性ある大学・魅力ある大学・開かれた大学）を念頭に、福井駅に隣接している立地を最大限に活かし、県民に開かれた都市型キャンパスを構築

- 1 県民と協働・交流し、大学の学びや学生の活動を身近に感じられる  
**「身近なキャンパス」**  
全面ガラス面を採用した「オープンな空間」の創出
- 2 大学の魅力を広く発信し、県内進学促進および地域人材の育成・定着につなげる **「魅せるキャンパス」**  
研究成果や学生・地域との協働を「発信する拠点」の設置
- 3 学生のみならず社会人の学び直しなど、大学の学びを通じて将来のキャリアを描くことができる **「磨くキャンパス」**  
県民が自分の可能性を再発見できるような「学びの拠点」の設置

【1階正面】



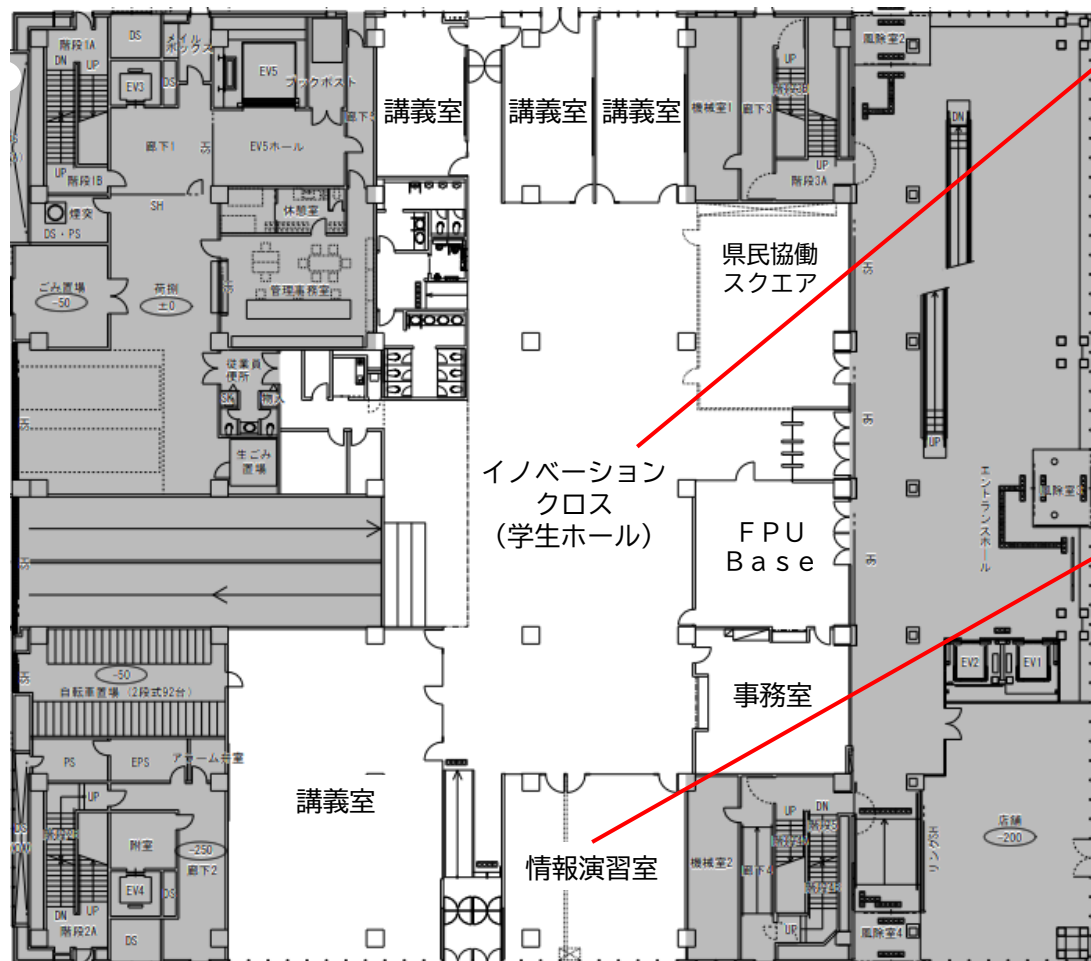
FPU Base（情報発信拠点）

- ・大学に関する相談窓口の設置
- ・デジタルサイネージ等を活用した研究成果や地域連携の取組発信
- ・社会人の学び直しに対応した公開講座・科目等履修の受付・相談

県民協働スクエア

- ・社会人の学び直しや人材育成、県民との協働・交流を通じた学びと地域をつなぐ場としての機能
- ・大型ディスプレイや、目的に応じて自在にレイアウトを変更できる机・椅子の設置（約70名収容可能）

## 1階



【イノベーションクロス（学生ホール）】



イノベーションクロス（学生ホール）

- ・木調天井とガラス面による居心地がよく開放的な空間を創出
- ・ゼミ活動やプレゼンテーション、学生の自習・休憩など様々な用途や人数に対応できる机・椅子を配置

【情報演習室・講義室】



情報演習室・講義室

- ・情報演習室には総合的な地域分析を行うための最新のGIS環境を整備
- ・約160名収容できる講義室を備え、動画や音声などの教材を学生個人のPCにリアルタイムで共有できるICT環境を整備

## 3階



## 5階



【地域連携ラウンジ（教員交流ホール）】



地域連携ラウンジ（教員交流ホール）

- ・教員研究室の中心に配置し、関係者等が意見交換を行う交流拠点として機能
- ・可動式間仕切りを採用した会議室を設置